

**地域づくり活動 NPO 事業助成事業**  
**子育てサロン防災共育プロジェクト事業**  
~地域の親子が安心して集える子育てサロン開催~

認定特定非営利活動法人コムサロン 21

## 1. 事業が目指すところ

本事業は、子育て中の家庭が災害時にも安心して行動できるよう、「子育て」と「防災」をテーマに学びとつながりの場を提供することを目的としています。防災意識が高まる中、乳幼児を育てる家庭では「何を備えればいいか分からない」「避難が不安」といった声が多く、情報や経験を得る機会が限られています。また、姫路市内では子育てや育児の孤立も課題となっており、日頃から地域で支え合う関係づくりも必要です。本事業では、親子イベントにあわせて体験型の防災ブースを出店し、子育て中の親子が楽しく備える”きっかけ”の機会つくります。防災を“特別なこと”ではなく、“日常の一部”として学べるよう工夫し、家庭と地域に安心を広げていきます。

## 2. 活動内容

◎地域の親子が安心して集える子育てサロンを年間 3 回開催（担当：前川・作原）

日 時	イ ベ ン ト 名	場 所	参 加 人 数
① 2025 年 7 月 19 日(土) 10:30-12:30	子育てサロン 浴衣でこども縁日を楽しもう × 親子で防災を考えよう	ピオレ姫路 3 階 キッズスペース	大人 53 名 + 子供 39 名 + スタッフ 7 名 + スタッフ子供 1 名 = 合計 100 名
② 2025 年 9 月 20 日(土) 10:00-12:00	子育てサロン 9 月の活動日 × 親子で防災を考えよう	ピオレ姫路 6 階 ピオレホール(大)	大人 19 名 + 子供 14 名 + スタッフ 7 名 + スタッフ子供 2 名 + 企業 3 名 = 合計 45 名
③ 2025 年 12 月 27 日(土) 10:00-12:00	子育てサロンランチ付き忘年会 × 親子でちょこっと防災 × 家計改善セミナー	ピオレ姫路 6 階 ピオレホール(大)	大人 21 名 + 子供 16 名 + スタッフ 6 名 + スタッフ子供 3 名 + 企業 2 名 = 合計 48 名

<会場の様子>



◎10 月 25 日 ハロウィンイベント(ピオレ・フェスタ)でのブース出店（担当：前川・作原）

日 時	イ ベ ン ト 名	場 所	参 加 人 数
④ 2025 年 10 月 25 日(土) 10:30-16:00	姫路ハロウィン「姫ハロ」× 親子で防災を考えよう	ピオレ姫路 1/3/6/屋上 テラソ 1/2 階	事前申込：全体 304/大人 146/子供 158 当日申込：全体 293/大人 145/子供 148 トータル：全体 597



## 3. 成果や課題点

本事業では、商業施設ピオレ姫路内のオープンスペースでの開催により、事前告知された参加者だけでなく、偶然立ち寄った親子も含め多くの方と交流する機会をつくることができました。特に「浴衣でこども縁日 × 防災」「サロン × 防災 × マネー講座」「ランチ付き忘年会 × 防災」など、多彩な企画を通じて、参加者が楽しみながら防災について考えるきっかけを提供できました。

具体的には、防災チェックシートや防災用品のサンプリング、絵本の読み聞かせ、防災手形アート制作、避難所でもできる自律神経ケア等の体験型コンテンツを通じ、防災行動の準備や心構えについて自然に意識化する機会となりました。また、企業協賛によるランチ付きマネーセミナーを組み合わせた回では、幅広いテーマでの学びと交流があり、平日のみでは得られない多様な体験を提供できました。

参加者からは「遊びながら防災について学べた」「日常の中で備える意識が高まった」「親子で共通の話題ができた」といった声が寄せられ、子育て世帯への防災意識啓発に一定の効果が見られました。また、大学生ボランティアの関わりにより、世代を超えた地域参加の広がりも評価されました。

一方で、多数のコンテンツを同時に提供した回では、個々の体験時間が分散しやすかった点が課題として挙げられました。今後は、コンテンツの適切な時間配分、体験と交流のバランス調整等を検討し、より満足度の高いプログラム構成を進めていく必要があります。

## 4. 今後の展望、成果の活用

今後は、子育てサロンと防災を組み合わせた取り組みを継続的に実施し、「防災＝特別なもの」ではなく「日常の延長線上にあるもの」として地域に定着させていきたいと考えています。乳幼児期から親子で防災に触れることで、家庭内での備えや会話につながり、災害時の不安軽減につながることが期待されます。

また、これまでの実施実績や参加者の声を活かし、地域の企業・専門職・学生との連携をさらに広げていくことで、より多様な視点からの地域全体で親子を支え合える防災ネットワークづくりへとつなげていきたいと考えています。